

マテバシイ (萌芽)

[木本] 《嗜好》



春は新葉と花で樹冠が黄色に見える。



葉は硬く、裏面に葉脈が出っ張る。



堅果は多数付く。

区別のポイント

低地の常緑樹林内。葉は革質で厚く、大きい。縁は全縁。堅果は長さ 1.5 ~ 2.5 cmの長楕円形。

形態 常緑高木。高さ 15m。

分布 本州・四国・九州・沖縄

名前の由来 九州地方の方言とする説と、葉がマテ貝の形に似ているからという説がある。

葉 **〈全体〉**倒卵状楕円形で長さ 5 ~ 20 cm、幅 3 ~ 8 cm。

〈付き方〉互生。らせん状に付き枝先に集まる傾向。

〈葉柄〉1.5 ~ 2.5 cm。 **〈基部〉**くさび形。

〈葉先〉短く尖る。

〈縁〉全縁。

備考 9, 15では区別なし。成葉は中間。

出典 9, 14, 15